

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK38)

(函館水試担当地区)

2009年12月25日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A属他 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
八雲	12/22	0	7.6	33.04	0	0	0	0	0	
噴火湾西部 11.0		5	7.6	33.18	0	0	0	0	20	Dt20
		10	7.6	33.17	0	0	0	0	0	
		15	7.6	33.18	0	0	0	0	0	
		20	7.6	33.19	0	0	0	0	0	
		25	7.6	33.18	0	0	0	0	0	
		30	7.6	33.17	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトゴニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

水温は12月下旬は噴火湾西部では7.6°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK37)

(函館水試担当地区)

2009年12月21日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A属他 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	12/17	0	6.2	33.00	0	0	0	0	0	
太平洋西部 3.2		10	6.5	33.07	0	0	0	0	0	
		20	7.1	33.26	0	0	0	0	0	
		30	7.1	33.26	0	0	0	0	0	
知内	12/17	0	12.1	33.89	0	0	0	0	0	
津軽海峡 11.3		10	12.1	33.89	0	0	0	0	0	
		20	12.1	33.91	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* デイノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトゴニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* デイノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* デイノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス ロテュンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋西部、津軽海峡には出現していません。

水温は12月中旬は太平洋西部では6.2~7.1°C、津軽海峡では12.1°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK36)

(函館水試担当地区)

2009年12月11日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A属他 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
虻田	12/9	0	9.1	33.03	0	0	0	0	0	
噴火湾東部 10.0		5	9.1	33.08	0	0	0	0	10	Dt10
		10	9.2	33.08	0	0	0	0	0	
		15	9.4	33.17	0	0	0	0	0	
		20	9.4	33.09	0	0	0	0	0	
		25	9.4	33.20	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾東部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部に出現しています。

水温は12月上旬は噴火湾東部では9.1~9.4°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK35)

(函館水試担当地区)

2009年12月7日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A属他 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
八雲 噴火湾西部 11.0	11/24	0	9.5	32.29	0	0	0	0	40	Dt30, Dro10
		5	9.9	32.52	0	0	0	0	10	Dt10
		10	10.7	33.01	0	0	0	0	0	
		15	10.8	32.97	0	0	0	0	0	
		20	10.8	32.90	0	0	0	0	0	
		25	10.9	32.99	0	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 12.0	11/26	0	13.8	33.77	0	0	0	0	0	
		10	13.9	33.78	0	0	0	0	0	
		20	13.9	33.79	0	0	0	0	0	

\*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテユンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

水温は11月下旬は噴火湾西部では9.5~10.9°C、津軽海峡では13.8~13.9°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK34)

(函館水試担当地区)

2009年11月18日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A属他 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋西部 8.5	11/9	0	12.4	33.29	0	0	0	0	0	
		10	12.5	33.36	0	0	0	0	0	
		20	12.2	33.37	0	0	0	0	0	
		30	11.4	33.52	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 10.0	11/9	0	12.4	32.65	0	0	0	0	80	Dt80
		5	12.4	32.65	0	0	0	0	70	Dt70
		10	12.4	32.79	0	0	0	0	0	
		15	12.1	32.91	0	0	0	0	10	Dt10
		20	11.9	33.17	0	0	0	0	0	
森 噴火湾西部 14.5	11/16	0	11.6	32.82	0	0	0	0	0	
		10	11.6	32.86	0	0	0	0	20	Dt20
		20	11.6	32.86	0	0	0	0	30	Dt30
		30	11.6	32.87	0	0	0	0	0	
鹿部 噴火湾湾口部 9.0	11/16	0	11.2	32.95	0	0	10	0	30	Dt30
		5	11.2	32.98	0	0	0	10	0	
		10	11.2	32.99	0	0	0	0	10	Dt10
		15	11.1	33.00	0	0	0	0	20	Dt10, Dm10
		20	11.0	33.00	0	0	0	0	0	
		25	10.9	32.99	0	0	0	0	10	Dt10
		30	10.9	32.99	0	0	0	0	0	
40	10.8	33.00	0	0	0	0	0			

\*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルウェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテユンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋西部、噴火湾東部、噴火湾西部、噴火湾湾口部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

水温は11月中旬は太平洋西部では11.4~12.5°C、噴火湾東部では11.8~12.4°C、噴火湾西部では11.6°C、噴火湾湾口部では10.8~11.2°Cです。

(担当: 馬場勝寿・菅原理恵子)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK33)

(函館水試担当地区)

2009年11月5日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A属他 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
知内	10/22	0	16.0	33.68	0	0	0	0	0	
津軽海峡		10	16.0	33.75	0	0	0	0	0	
13.0		20	15.9	33.80	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトゴニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは津軽海峡には出現していません。

水温は10月中旬は津軽海峡では15.9~16.0°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK32)

(函館水試担当地区)

2009年10月21日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A属他 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
八雲 噴火湾西部 8.5	10/19	0	14.9	32.01	0	0	0	0	90	Dt90
		5	14.8	32.11	0	0	0	0	60	Dt40, Dm20
		10	14.8	32.25	0	0	0	0	20	Dt20
		15	13.7	32.84	0	0	0	0	10	Dt10
		20	13.3	32.91	0	0	0	0	0	
		25	13.1	32.99	0	0	0	0	0	
鹿部 噴火湾湾口部 11.0	10/19	30	13.0	33.04	0	0	0	0	0	
		0	15.1	32.44	0	0	0	0	210	Dt200, Dm10
		5	15.0	32.44	0	0	0	0	90	Dt90
		10	15.0	32.61	0	0	0	0	170	Dt160, Dro10
		15	13.6	32.92	0	0	0	0	30	Dt30
		20	13.1	32.99	0	0	0	0	0	
		25	12.4	32.99	0	0	0	0	0	
30	12.3	33.01	0	0	0	0	0			
40	11.7	33.05	0	0	0	0	0			

\*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部、噴火湾湾口部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

水温は10月中旬は噴火湾西部では13.0~14.9°C、噴火湾湾口部では11.7~15.1°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK31)

(函館水試担当地区)

2009年10月16日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A属他 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋西部 4.1	10/6	0	16.3	32.36	0	0	30	10	60	Dt60
		10	15.3	32.82	0	0	50	0	30	Dt20, Dro1
		20	13.2	33.36	0	0	0	0	0	
		30	12.8	33.39	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 12.5	10/5	0	16.9	31.35	0	0	0	0	70	Dt70
		5	17.1	32.14	0	0	0	0	10	Dt10
		10	16.1	32.35	0	0	10	0	10	Dt10
		15	14.8	32.54	0	0	0	0	0	
		20	14.0	32.73	0	0	0	0	0	
森 噴火湾西部 14.0	10/14	0	15.3	32.26	0	0	0	0	90	Dt90
		10	15.3	32.29	0	0	0	0	100	Dt100
		20	15.3	32.33	0	0	0	0	40	Dt40
		30	12.5	32.96	0	0	0	0	50	Dt50
鹿部 噴火湾湾口部 9.0	9/24	0	18.4	31.70	0	0	0	0	150	Dt140, Dm10
		5	17.9	31.85	0	0	0	0	100	Dt100
		10	16.9	32.27	0	0	0	0	80	Dt80
		15	15.3	32.38	0	0	20	0	40	Dt40
		20	13.1	32.60	0	0	0	0	40	Dt40
		25	12.9	32.78	0	0	0	0	130	Dt130
		30	12.8	32.80	0	0	0	0	100	Dt100
40	11.8	32.91	0	0	0	0	30	Dt30		
知内 津軽海峡 17.0	9/24	0	20.4	33.48	0	0	0	0	0	
		10	20.4	33.56	0	0	0	0	20	Dm10, Dru10
		20	18.6	33.76	0	0	0	0	0	

\*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサントリウム =旧名 プロトゴニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテュンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋西部、噴火湾東部、噴火湾西部、噴火湾湾口部、津軽海峡に出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋西部、噴火湾東部、噴火湾西部、噴火湾湾口部、津軽海峡に出現していません。

水温は9月下旬～10月中旬は太平洋西部では12.8～16.3°C、噴火湾東部では13.2～17.1°C、噴火湾西部では12.5～15.3°C、噴火湾湾口部では18.4～11.8°C、津軽海峡では20.4～18.6°Cです。

(担当: 馬場勝寿・菅原理恵子)



# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK30)

(函館水試担当地区)

2009年9月17日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A属他 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋西部 4.0	9/11	0	15.0	31.80	0	0	10	0	0	
		10	12.6	32.91	0	0	30	0	0	
		20	11.7	33.08	0	0	0	10	0	
		30	10.9	33.16	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 13.0	9/14	0	18.9	30.64	0	0	0	0	0	
		5	18.3	31.68	0	0	0	0	30	Dt30
		10	15.0	32.39	0	0	0	0	10	Dt10
		15	13.1	32.62	0	0	0	0	0	
		20	12.1	32.77	0	0	0	0	0	
八雲 噴火湾西部 16.0	9/14	25	10.7	32.84	0	0	0	0	0	
		0	19.7	30.92	0	0	0	0	0	
		5	18.9	31.44	0	0	0	0	0	
		10	18.7	31.51	0	0	0	0	80	Dt70, Dm10
		15	13.9	32.48	0	0	20	0	200	Dt200
		20	13.1	32.83	0	0	10	0	0	
森 噴火湾西部 14.0	9/15	25	12.4	32.96	0	0	10	0	0	
		30	11.8	33.07	0	0	0	0	0	
		0	19.1	31.35	0	0	0	0	0	
		10	17.3	31.89	0	0	0	0	0	
		20	12.5	32.80	0	0	0	0	0	
30	11.2	33.18	0	0	0	0	0			
40	10.6	33.27	0	0	0	0	0			

\*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋西部、噴火湾東部、噴火湾西部に出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋西部、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

水温は9月中旬は太平洋西部では10.9~15.0°C、噴火湾東部では10.7~18.9°C、噴火湾西部では10.6~19.7°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK29)

(函館水試担当地区)

2009年8月27日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A属他 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋西部 7.0	8/17	0	16.3	31.77	30	0	0	280	10	Dt10
		10	13.4	32.20	10	0	80	0	0	
		20	11.4	32.65	0	0	20	60	10	Dn10
		30	10.0	32.76	0	0	0	0	0	
八雲 噴火湾西部 4.0	8/21	0	21.6	30.34	0	0	0	0	30	Di20, Dm10
		5	21.1	30.79	0	0	0	0	0	
		10	20.3	30.99	0	0	0	0	0	
		15	17.9	31.68	0	0	0	0	0	
		20	17.2	31.85	0	0	0	0	0	
		25	15.6	31.91	0	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 10.0	8/19	0	21.4	33.60	0	0	0	0	30	Dm30
		10	21.4	33.61	0	0	0	0	0	
		20	20.7	33.68	0	0	0	0	0	

\*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋西部、噴火湾西部、津軽海峡に出現しています。

水温は8月下旬は太平洋西部では10.0～16.3°C、噴火湾西部では13.2～21.6°C、津軽海峡では20.7～21.4°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK28)

(函館水試担当地区)

2009年8月13日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A属他 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
虻田 噴火湾東部 9.0	8/10	0	22.0	29.72	0	0	0	0	0	
		5	19.2	30.98	0	0	0	0	0	
		10	16.9	31.65	0	0	30	10	10	Dt10
		15	14.8	32.18	0	0	0	0	0	
		20	13.3	32.72	0	0	0	0	0	
		25	12.4	32.95	0	0	0	0	0	
森 噴火湾西部 7.5	8/11	0	20.0	30.86	0	0	0	0	0	
		10	16.5	31.77	0	0	10	0	30	Dt20, Di10
		20	13.5	32.42	0	0	0	0	0	
		30	10.9	32.88	0	0	10	0	0	
鹿部 噴火湾湾口部 8.5	8/10	0	20.9	30.82	0	0	0	0	0	
		5	17.9	31.39	0	0	10	0	0	
		10	15.7	31.95	0	0	30	0	0	
		15	14.6	32.36	0	0	40	10	0	
		20	13.6	32.56	0	0	0	30	0	
		25	12.0	32.89	0	0	30	0	30	Dt10, Dro20
		30	10.9	33.05	0	0	20	0	0	
		40	9.9	33.08	0	0	0	0	0	

\*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾東部、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

水温は8月初旬は噴火湾東部では12.4～22.0°C、噴火湾西部では10.9～20.0°C、噴火湾湾口部では9.9～20.9°Cです。

(担当: 馬場勝寿・菅原理恵子)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK27)

(函館水試担当地区)

2009年7月27日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A属他 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
森	7/27	0	17.5	29.56	0	0	10	10	0	
噴火湾西部		10	16.5	31.73	0	0	10	0	0	
5.0		20	15.8	32.13	0	0	20	0	0	
		30	12.4	32.58	0	0	10	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

水温は7月下旬は噴火湾西部では12.4~17.5°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK26)

(函館水試担当地区)

2009年7月27日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A属他 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	7/22	0	15.6	31.72	0	0	10	0	0	
太平洋西部 6.5		10	14.9	32.95	0	0	30	0	10	Dro10
		20	14.7	33.50	0	0	10	0	0	
		30	9.1	33.04	0	0	10	0	0	
八雲	7/23	0	17.8	29.34	0	0	0	20	0	
噴火湾西部 3.0		5	16.4	30.93	0	0	0	10	0	
		10	16.0	31.47	0	0	10	0	0	
		15	15.8	31.62	0	0	0	10	0	
		20	15.1	31.88	0	0	0	0	0	
		25	13.5	32.11	0	0	0	0	0	
	30	12.4	32.50	0	0	0	0	0		
鹿部	7/23	0	16.2	32.29	0	0	0	0	0	
噴火湾湾口部 13.0		5	15.9	32.33	0	0	0	0	10	Dro10
		10	15.0	32.35	0	0	0	0	0	
		15	14.0	32.68	0	0	10	10	0	
		20	12.0	32.79	0	0	0	0	0	
		25	11.5	32.77	0	0	10	10	0	
	30	10.4	32.88	0	0	0	10	0		
	40	9.6	32.93	0	0	0	0	10	Dro10	

\*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシ フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシ・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシ ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシ トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシ ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシ コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシ インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシ ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシ ロテユンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋西部、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋西部、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

水温は7月下旬は太平洋西部では9.1~15.6°C、噴火湾西部では12.4~17.8°C、噴火湾湾口部では9.6~16.2°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK25)

(函館水試担当地区)

2009年7月22日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A属他 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
虻田	7/21	0	18.8	29.02	0	0	0	0	0	
噴火湾東部 9.0		5	17.5	31.26	0	0	10	20	0	
		10	15.5	31.89	0	0	10	10	0	
		15	13.9	32.20	0	0	30	0	0	
		20	13.3	32.36	0	0	0	0	0	
		25	13.0	32.66	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィス ノルウェーガ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾東部に出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部に出現しています。

水温は7月下旬は噴火湾東部では13.0~18.8°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK24)

(函館水試担当地区)

2009年7月9日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					<i>At</i> 細胞/L	A属他 細胞/L	<i>D.fortii</i> 細胞/L	<i>D.acum.</i> 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
虻田	7/8	0	17.4	32.00	0	0	0	40	10	Dro10
噴火湾東部 10.5		5	15.8	31.90	0	0	0	30	0	
		10	14.4	32.00	0	0	10	0	0	
		15	13.0	32.13	0	0	0	0	10	Dro10
		20	12.1	32.37	0	0	0	40	0	
		25	10.8	32.98	0	0	10	20	10	Dn10

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾東部に出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部に出現しています。

水温は7月上旬は噴火湾東部では10.8~17.4°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK23)

(函館水試担当地区)

2009年7月7日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A属他 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	7/2	0	14.7	31.64	0	0	0	80	60	Dn50, Dro10
太平洋西部		10	12.7	32.24	0	0	40	120	40	Dn40
	8.5	20	10.4	32.93	0	0	20	10	50	Dn50
	30	7.5	33.41	0	0	0	0	30	Dn30	
森	7/7	0	20.0	31.81	0	0	0	70	0	
噴火湾西部		10	15.0	31.93	0	0	20	20	0	
	9.0	20	12.8	32.22	0	0	0	20	20	Dro20
	30	11.1	32.78	0	0	50	10	10	Dro10	

\*D.fortii=Dinophysis fortii デイノフィス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata デイノフィス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトゴニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica デイノフィス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos デイノフィス トリポス

Dm=Dinophysis mitra デイノフィス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata デイノフィス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula デイノフィス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィス ロテュンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋西部、噴火湾西部に出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋西部、噴火湾西部に出現しています。

太平洋西部では最大の細胞密度が100/Lを超えている水深帯があり、二枚貝における下痢性の毒性値に注意が必要です。

水温は7月初旬は太平洋西部では7.5~14.7°C、噴火湾西部では11.1~20.0°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)



# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK22)

(函館水試担当地区)

2009年6月29日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A属他 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	6/25	0	13.1	30.78	0	0	10	150	0	
太平洋西部 1.9		10	9.9	32.56	0	0	0	90	70	Dn70
		20	9.2	33.27	0	0	0	20	0	
		30	7.4	33.31	0	0	0	0	0	
森	6/26	0	15.3	31.78	0	0	0	70	0	
噴火湾西部 8.0		10	13.3	31.95	0	0	0	100	20	Di10, Dm10
		20	12.2	32.14	0	0	10	20	40	Di20, Dn20
		30	10.5	32.69	0	0	20	40	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサン德里ウム =旧名 プロトゴニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋西部、噴火湾西部に出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋西部、噴火湾西部に出現しています。

領海域とも最大の細胞密度が100/Lを超えている水深帯があり、二枚貝における下痢性の毒性値に注意が必要です。

水温は6月下旬は太平洋西部では7.4~13.1°C、噴火湾西部では10.5~15.3°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK21)

(函館水試担当地区)

2009年6月25日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					<i>At</i> 細胞/L	A属他 細胞/L	<i>D.fortii</i> 細胞/L	<i>D.acum.</i> 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
虻田	6/22	0	14.4	31.46	0	0	0	100	0	
噴火湾東部 8.0		5	13.3	32.01	0	0	0	100	30	Dn10, Di20
		10	13.0	32.03	10	0	0	160	10	Dn10
		15	12.8	32.08	0	0	10	80	0	
		20	12.2	30.05	0	0	0	110	0	
		25	11.6	32.17	0	0	10	240	10	Dn10

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾東部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部に出現しています。

最大の細胞密度が100/Lを超えており、二枚貝における下痢性の毒性値に注意が必要です。

水温は6月下旬は噴火湾東部では11.6~14.4°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK20)

(函館水試担当地区)

2009年6月19日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					<i>At</i> 細胞/L	A属他 細胞/L	<i>D.fortii</i> 細胞/L	<i>D.acum.</i> 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
知内	6/18	0	13.2	33.65	0	0	0	0	10	Di10
津軽海峡		10	12.9	33.98	0	0	0	10	0	
8.0		20	12.7	33.98	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトゴニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは津軽海峡に出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは津軽海峡に出現しています。

水温は6月中旬は津軽海峡では12.7~13.2°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK19)

(函館水試担当地区)

2009年6月17日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A属他 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
八雲	6/16	0	14.4	30.92	30	0	0	40	0	
噴火湾西部 7.5		5	12.6	31.94	30	0	0	310	0	
		10	12.2	32.03	20	0	10	240	0	
		15	12.0	32.09	60	0	10	640	60	Dn60
		20	11.9	32.06	60	0	0	430	50	Dn50
		25	11.6	32.05	30	0	10	500	40	Dn40
		30	10.6	32.28	10	0	0	80	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

最大の細胞密度が100/Lを超えており、二枚貝における下痢性の毒性値に注意が必要です。

水温は6月中旬は噴火湾西部では10.6~14.4°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK18)

(函館水試担当地区)

2009年6月12日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A属他 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
虻田 噴火湾東部 9.0	6/8	0	13.2	31.80	0	0	0	60	0	
		5	12.6	32.01	0	0	0	80	0	
		10	12.1	32.05	10	0	0	160	20	Dn20
		15	10.8	32.17	70	0	0	180	20	Dn20
		20	9.9	32.25	70	0	0	280	10	Dn10
		25	7.8	32.54	0	0	0	0	0	
鹿部 噴火湾湾口部 9.0	6/9	0	11.3	32.06	160	0	0	160	70	Dn70
		5	10.0	32.22	90	0	10	120	10	Dn10
		10	9.2	32.32	250	0	0	80	10	Dn10
		15	8.8	32.35	50	0	30	100	80	Dn60, Dro20
		20	8.2	32.41	130	0	0	140	100	Dn90, Dro10
		25	8.0	32.46	90	0	0	150	30	Dn20, Dro10
		30	7.9	32.45	0	0	0	0	0	
40	6.1	32.75	0	0	0	0	0			

\*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラクス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾東部、噴火湾湾口部 に出現しています。

噴火湾湾口部では、最大の細胞密度が100/Lを超えており、二枚貝における麻痺性の毒性値に注意が必要です。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部、噴火湾湾口部 に出現しています。

最大の細胞密度が100/Lを超えており、二枚貝における下痢性の毒性値に注意が必要です。

水温は6月初旬は噴火湾東部では7.8～13.2°C、噴火湾湾口部では6.1～11.3°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK17)

(函館水試担当地区)

2009年6月5日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A属他 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	6/1	0	8.5	32.13	20	0	10	70	90	Dn80,Dro10
太平洋西部		10	6.3	32.38	0	0	0	10	20	Dn20
5.5		20	6.1	32.42	0	0	0	0	20	Dn20
		30	5.8	32.47	0	0	0	10	20	Dn20

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋西部に出現しています。

水温は6月初旬は太平洋西部では5.8~8.5°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK16)

(函館水試担当地区)

2009年6月2日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A属他 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
森	6/1	0	9.6	32.28	970	0	0	20	0	
噴火湾西部		10	7.0	32.46	360	0	0	90	30	Dn30
9.0		20	5.8	32.78	310	0	0	20	0	
		30	5.7	32.83	270	0	0	30	10	Dn10

\*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

最大の細胞密度が100/Lを超えており、二枚貝における麻痺性の毒性値に注意が必要です

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

水温は6月初旬は噴火湾西部では5.7～9.6°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK15)

(函館水試担当地区)

2009年5月29日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A属他 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋西部 6.0	5/27	0	10.2	31.63	0	0	0	0	0	
		10	8.3	32.33	0	0	0	20	0	
		20	2.7	32.66	0	0	0	0	0	
		30	2.3	32.81	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 10.0	5/25	0	10.9	29.33	80	0	0	10	0	
		5	7.2	32.42	20	0	0	60	10	Dn10
		10	6.1	32.66	140	0	0	300	30	Dn30
		15	5.5	32.76	110	0	0	100	10	Dn10
		20	5.1	32.88	340	0	0	130	20	Dn20
		25	5.1	33.01	10	0	0	0	0	

\*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rugei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテユンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾東部に出現しています。

最大の細胞密度が100/Lを超えており、二枚貝における麻痺性の毒性値に注意が必要です

下痢性貝毒プランクトンは太平洋西部、噴火湾東部に出現しています。

噴火湾東部では、最大の細胞密度が100/Lを超えており、二枚貝における下痢性の毒性値に注意が必要です

水温は5月下旬は、太平洋西部では2.3~10.2°C、噴火湾東部では5.1~10.9°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)



# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK14)

(函館水試担当地区)

2009年5月25日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A属他 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
八雲 噴火湾西部 9.0	5/21	0	9.9	31.97	960	0	0	30	0	
		5	9.2	32.24	60	10	0	130	0	
		10	8.7	32.20	100	0	0	130	0	
		15	7.1	32.53	440	0	0	280	10	Dn10
		20	6.0	32.83	220	10	0	190	20	Dn20
		25	5.4	33.03	160	20	0	40	0	
森 噴火湾西部 10.5	5/22	0	10.2	31.95	420	0	0	360	10	Dn10
		10	8.4	32.28	350	0	10	70	10	Dn10
		20	5.7	32.78	60	0	0	30	10	Dn10
		30	5.2	32.97	50	10	0	10	10	Dn10
		知内 津軽海峡 6.5	5/22	0	11.5	33.15	0	0	0	0
10	10.1	33.95	0	0	10	0	0			
20	9.8	33.99	0	0	0	0	0			

\*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

最大の細胞密度が100/Lを超えており、二枚貝における麻痺性の毒性値に注意が必要です。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部、津軽海峡に出現しています。

噴火湾西部では、最大の細胞密度が100/Lを超えており、二枚貝における下痢性の毒性値に注意が必要です。

水温は5月下旬は、噴火湾西部では5.1~10.2°C、津軽海峡では9.8~11.5°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK13)

(函館水試担当地区)

2009年5月18日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A属他 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
鹿部	5/14	0	7.6	32.23	970	0	0	160	0	
噴火湾湾口部 10.0		5	7.5	32.35	430	0	0	110	0	
		10	7.5	32.36	490	0	0	280	0	
		15	7.3	32.40	450	0	0	330	0	
		20	7.1	32.44	390	0	0	80	0	
		25	6.8	32.44	280	0	0	10	0	
		30	6.3	32.48	160	0	0	10	0	
		40	4.6	32.70	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィス トリホス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾湾口部に出現しています。  
最大の細胞密度が100/Lを超えており、二枚貝における麻痺性の毒性値に注意が必要です。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾湾口部に出現しています。  
最大の細胞密度が100/Lを超えており、二枚貝における下痢性の毒性値に注意が必要です。

水温は5月中旬は、噴火湾湾口部では4.6~7.6°Cです。

(担当: 馬場勝寿・菅原理恵子)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK12)

(函館水試担当地区)

2009年5月14日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A属他 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋西部 5.5	5/12	0	6.2	32.08	0	0	20	30	10	Dro10
		10	4.5	32.45	0	0	20	0	0	
		20	2.0	32.60	0	0	0	0	0	
		30	1.9	32.65	0	0	0	0	10	Dro10
虻田 噴火湾東部 7.0	5/11	0	9.5	31.93	390	0	0	690	0	
		5	9.4	31.98	230	0	0	590	20	Dn20
		10	9.4	32.00	330	0	10	460	10	Dn10
		15	8.6	32.13	40	0	10	790	0	
		20	7.8	32.29	10	0	0	300	10	Dn10
	25	6.5	32.35	40	10	0	120	20	Ao10, Dn20	
森 噴火湾西部 13.0	5/7	0	7.7	32.24	390	0	0	30	0	
		10	6.1	32.71	0	0	0	10	60	Dn60
		20	5.8	32.79	0	0	0	0	10	Dn10
		30	5.2	32.97	0	0	0	0	0	

\*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラクタス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。  
両海域とも細胞密度が100/Lを超えており、二枚貝の麻痺性の毒性値に注意が必要です。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋西部、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。  
噴火湾東部では細胞密度が100/Lを超えており、二枚貝の下痢性の毒性値に注意が必要です。  
水温は5月中旬は、太平洋西部では1.9~6.2°C、噴火湾東部では6.5~9.5°C、噴火湾西部では5.2~7.7°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK11)

(函館水試担当地区)

2009年4月30日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A属他 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	4/27	0	3.7	31.81	0	0	0	20	0	
太平洋西部 5.8		10	3.1	32.07	0	0	0	10	0	
		20	3.1	32.11	0	0	0	0	0	
		30	3.1	32.14	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋西部に出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋西部に出現しています。

水温は4月下旬は、太平洋西部では3.1～3.7°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK10)

(函館水試担当地区)

2009年4月30日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A属他 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
森	4/28	0	6.1	32.83	230	10	0	10	0	
噴火湾西部 14.0		10	5.8	32.81	160	20	0	70	0	
		20	5.7	32.81	100	10	0	80	10	Dn10
		30	5.6	32.83	20	10	0	60	0	

\*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プトゴニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

水温は4月下旬は、噴火湾西部では5.6~6.1°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK9)

(函館水試担当地区)

2009年4月28日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A属他 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
虻田 噴火湾東部 17.0	4/20	0	6.8	32.56	240	0	0	30	0	
		5	6.3	32.70	30	0	0	110	0	
		10	5.8	32.91	20	10	0	120	0	
		15	5.6	33.00	10	0	0	30	0	
		20	5.3	32.97	10	0	0	30	10	Dn10
	25	5.2	33.04	0	0	0	0	0		
知内 津軽海峡 7.0	4/23	0	9.3	33.59	0	0	10	0	0	
		10	9.2	33.87	-	-	-	-	-	貝毒プ欠測
		20	9.1	33.93	0	0	10	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾東部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部, 津軽海峡に出現しています。

水温は4月下旬は、噴火湾東部では5.2~6.8°C、津軽海峡では9.1~9.3°Cです。

(担当: 馬場勝寿・菅原理恵子)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK8)

(函館水試担当地区)

2009年4月20日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A属他 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋西部 6.5	4/13	0	3.1	32.14	0	0	0	0	0	
		5	2.0	32.62	0	0	0	0	0	
		10	1.5	32.80	0	0	0	0	0	
		15	1.4	32.87	0	0	0	0	0	
八雲 噴火湾西部 9.5	4/13	0	6.6	31.43	240	0	0	0	0	
		5	5.0	32.97	10	0	0	0	0	
		10	4.2	33.19	0	0	0	0	0	
		15	3.7	33.31	0	0	0	0	0	
		20	3.6	33.38	0	0	0	0	0	
		25	3.6	33.42	0	0	0	0	0	
森 噴火湾西部 15.0	4/14	0	6.4	33.00	0	0	0	0	0	
		10	6.1	32.95	0	0	0	0	0	
		20	5.6	33.01	10	0	0	0	0	
		30	3.8	33.31	0	0	0	0	0	
鹿部 噴火湾湾口部 12.0	4/17	0	5.7	32.96	20	0	0	0	0	
		5	5.3	33.05	60	0	0	10	0	
		10	5.2	33.12	10	0	0	60	0	
		15	5.1	33.17	30	0	0	0	0	
		20	5.0	33.18	10	0	0	0	0	
		25	4.8	33.20	10	0	0	10	0	
		30	4.7	33.20	0	0	0	10	0	
40	4.0	33.32	0	0	0	0	0			

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテユンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾湾口部に出現しています。

水温は4月中旬は、太平洋西部では1.4~3.1°C、噴火湾西部では3.6~6.6°C、噴火湾湾口部では4.0~5.7°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK7)

(函館水試担当地区)

2009年4月9日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A属他 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
虻田	4/7	0	5.6	32.87	0	0	0	40	0	
噴火湾東部 7.0		5	5.4	33.18	0	0	0	20	10	Dn10
		10	5.1	33.21	0	0	0	0	0	
		15	4.8	33.25	0	0	0	10	0	
		20	4.3	33.28	0	0	0	0	0	
		25	4.1	33.33	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾東部に出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部に出現しています。

水温は4月上旬は、噴火湾東部では4.1~5.6°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)



# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK6)

(函館水試担当地区)

2009年4月1日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A属他 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
苦小牧 太平洋西部 3.5	3/18	0	4.1	32.73	0	0	0	10	0	
		5	4.1	32.73	0	0	0	20	0	
		10	4.1	32.75	10	0	0	10	0	
		15	4.0	32.76	0	0	0	30	0	
虻田 噴火湾東部 3.5	3/16	0	3.5	32.59	0	0	0	10	0	
		5	3.5	33.21	0	10	0	0	0	
		10	3.5	33.27	0	0	0	10	0	
		15	3.4	33.33	10	0	0	0	0	
		20	3.4	33.33	0	0	0	0	0	
25	3.3	33.34	0	0	0	0	0			
八雲 噴火湾西部 9.0	3/17	0	3.6	32.84	0	0	0	10	0	
		5	3.4	33.25	20	0	0	30	0	
		10	3.3	33.36	0	0	0	10	0	
		15	3.3	33.38	0	0	0	0	0	
		20	3.3	33.38	0	0	0	0	0	
		25	3.3	33.39	0	0	0	10	0	
30	3.5	33.22	0	0	0	0	0			

\*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋西部、噴火湾東部、噴火湾西部に少数出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋西部、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

水温は3月下旬は、太平洋西部では4.0~4.1°C、噴火湾東部では3.3~3.5°C、噴火湾西部では3.3~3.6°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK5)

(函館水試担当地区)

2009年3月12日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A属他 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
苫小牧 太平洋西部 5.0	3/4	0	3.5	33.02	0	0	0	20	0	
		5	3.4	33.01	0	0	0	20	0	
		10	3.4	33.03	0	0	0	10	0	
		15	3.4	33.03	10	0	0	20	0	
虻田 噴火湾東部 7.0	3/5	0	3.8	33.15	10	0	0	30	0	
		5	3.4	33.18	0	0	0	40	10	Dn10
		10	3.2	33.25	0	0	0	30	0	
		15	3.2	33.31	0	0	0	10	0	
		20	3.2	33.34	0	0	0	0	0	
		25	3.4	33.37	0	0	0	0	0	
鹿部 噴火湾湾口部 12.0	3/10	0	3.8	33.30	0	0	0	20	0	
		5	3.7	33.30	0	0	0	30	0	
		10	3.7	33.30	0	0	0	50	0	
		15	3.6	33.28	0	0	0	10	0	
		20	3.4	33.31	0	0	0	10	0	
		25	3.4	33.30	0	0	0	20	0	
		30	3.4	33.30	0	10	0	10	0	
		40	3.3	33.34	10	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 11.0	3/9	0	6.6	33.80	0	0	0	0	0	
		10	6.6	33.86	0	0	0	0	0	
		20	6.6	33.86	0	0	0	0	0	

\*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋西部、噴火湾東部、噴火湾湾口部に少数出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋西部、噴火湾東部、噴火湾湾口部に出現しています。

水温は3月上旬は、太平洋西部では3.4~3.5°C、噴火湾東部では3.2~3.8°C、噴火湾湾口部では3.3~3.8°C、津軽海峡では6.6°Cです。

(担当: 馬場勝寿・菅原理恵子)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK4)

(函館水試担当地区)

2009年2月26日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	属の他種 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
苫小牧 太平洋西部 8.5	2/18	0	3.4	32.95	0	0	0	10	0	
		5	3.9	33.20	0	0	0	0	0	
		10	4.7	33.36	0	0	0	0	0	
		15	4.9	33.39	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 8.5	2/17	0	3.1	32.95	0	0	0	30	0	
		5	3.3	33.04	0	0	0	30	20	Dn20
		10	3.4	33.17	0	0	0	0	0	
		15	3.4	33.14	0	0	0	20	0	
		20	3.7	33.35	0	0	0	0	0	
25	4.5	33.58	0	0	0	0	0			
八雲 噴火湾西部 9.0	2/19	0	3.3	33.38	0	0	0	0	0	
		5	3.3	33.40	0	0	0	30	0	
		10	3.3	33.41	0	0	0	20	0	
		15	3.3	33.38	0	0	0	0	0	
		20	3.3	33.40	0	0	0	20	0	
		25	3.3	33.41	0	0	0	20	0	
30	3.3	33.39	0	0	0	20	0			

\*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋西部、噴火湾東部、噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋西部、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

水温は2月下旬は、太平洋西部では3.4~4.9°C、噴火湾東部では3.1~4.5°C、噴火湾西部では3.3°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK3)

(函館水試担当地区)

2009年2月6日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	属の他種 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
苦小牧 太平洋西部 4.0	1/28	0	2.9	32.94	0	0	0	0	0	
		5	3.0	32.94	0	0	0	0	0	
		10	3.4	33.13	0	0	0	0	0	
		15	3.6	33.18	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 18.0	1/26	0	4.0	33.11	0	0	0	0	0	
		5	4.0	33.15	0	0	0	0	0	
		10	4.6	33.42	0	0	0	0	0	
		15	4.8	33.51	0	0	0	0	0	
		20	5.2	33.61	0	0	0	0	0	
		25	5.2	33.66	0	0	0	0	0	

\*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシ フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシ・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラククス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシ ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシ トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシ ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシ コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシ インファンデブラ, Dru=Dinophysis rugei ティノフィシ ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシ ロテユンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋西部、噴火湾東部部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋西部、噴火湾東部部には出現していません。

水温は1月下旬は、太平洋西部では2.9~3.6°C、噴火湾東部では4.0~5.2°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK2)

(函館水試担当地区)

2009年2月5日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	属の他種 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
苦小牧 太平洋西部 6.0	2/4	0	2.9	32.98	0	0	0	10	0	
		5	3.2	33.14	0	0	0	0	0	
		10	3.5	33.19	0	0	0	0	0	
		15	3.5	33.21	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 14.0	2/2	0	3.9	33.36	0	0	0	0	0	
		5	3.9	33.36	0	0	0	0	0	
		10	3.9	33.36	0	0	0	0	0	
		15	3.9	33.37	0	0	0	0	0	
		20	4.5	33.60	0	0	0	0	0	
		25	5.3	33.73	0	0	0	0	0	

\*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rugei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋西部、噴火湾東部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋西部に少数出現しています。

水温は2月初旬は、太平洋西部では2.9~3.5°C、噴火湾東部では3.9~5.3°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK1)

(函館水試担当地区)

2009年1月22日

北海道立函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	属の他種 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
苫小牧 太平洋西部 4.5	1/14	0	4.0	33.22	0	0	0	0	0	
		5	4.0	33.23	0	0	0	0	0	
		10	4.1	33.22	0	0	0	0	0	
		15	4.1	33.26	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 8.5	1/13	0	5.8	33.26	0	0	0	0	0	
		5	5.8	33.61	0	0	0	0	10	Dt10
		10	5.6	33.62	0	0	0	0	10	Dt10
		15	6.1	33.73	0	0	0	0	0	
		20	6.3	33.77	0	0	0	0	0	
八雲 噴火湾西部 7.5	1/19	0	5.2	33.63	0	0	0	0	0	
		5	5.2	33.63	0	0	0	0	0	
		10	5.2	33.63	0	0	0	0	0	
		15	5.4	33.79	0	0	0	0	0	
		20	5.6	33.76	0	0	0	0	0	
		25	5.5	33.77	0	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 15.0	1/19	0	10.0	34.02	0	0	0	0	0	
		10	10.1	34.03	0	0	0	0	0	
		20	10.0	34.04	0	0	0	0	0	

\*D.fortii=Dinophysis fortii デイノフィス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata デイノフィス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica デイノフィス ノルウェジカ, Dt= Dinophysis tripos デイノフィス トリポス

Dm=Dinophysis mitra デイノフィス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata デイノフィス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula デイノフィス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋西部、噴火湾東部、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部、噴火湾西部に少数出現しています。下痢性貝毒プランクトンは太平洋西部、津軽海峡には出現していません。

水温は1月中旬は、太平洋西部では4.0~4.1°C、噴火湾東部では5.6~6.3°C、噴火湾西部では5.2~5.6°C、津軽海峡では10.0~10.1°Cです。

(担当:馬場勝寿・菅原理恵子)